

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス『ももっこ』			
○保護者評価実施期間	R7年11月4日		～	R6年11月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	R7年12月1日		～	R7年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回、療育後に保護者とお話しする時間を設け、療育内容の報告やご家庭での困り事などを聞けるようにし、保護者の方が日々子育てで感じられている不安ができるだけ軽減するようにしている。	参観茶話会を実施し、実際に療育場面を見学したり、保護者同士で交流が持てたりするようにしている。	保護者が相談しやすい事業所となるように、支援員間で情報共有し、保護者の気持ちに寄り添えるようにしていく。
2	外部講師(OT/ST/大学教授)を招いて、専門的なアドバイスをもらい、療育の実践に活かしている。	子どもの姿と保護者のニーズも確認しながら、より良い療育内容になるように、支援員間で検討している。	研修等にも積極的に参加し、新しい情報を得られるようにしていきたいと思っています。
3	外の広場がありしっかり身体を動かすことができます。	虫を探したり、季節の草木に触れたり、自然に触れる事で情緒の安定や五感への刺激を促します。	遊具を利用して、楽しみながら全身運動を行い、バランス感覚や運動機能の協調性を養います。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間内の環境面が不十分な部分があります。	建物の老朽化も一つの原因であると思います。	必要に応じて、順次改修できるものは実施していきたいと思っています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス『ももっこ』
------	----------------

公表日 R8年 3月 1日

利用児童数

26 R7年 11月 4日~11月 24日

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3			人数が毎回5人ほどなので良いと思います。今の活動スペースでも問題ないと思うのですが、欲を言えばもう少し広いお部屋があると、みんなで体を大きく動かす活動がやりやすそうかなと思います。	個別療育・集団療育・おやつ・遊びの空間をそれぞれ用意しています。集団空間は稼働するため必要に応じて調整し空間作りをしています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19					9月より基準配置数に加え、より充実した療育が行えるよう加配職員を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				1		バリアフリーではありませんが、利用されているお子さんがわかりやすい空間の構造化や視覚表示など行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		3	中にアルコール消毒はあるのか、風邪症状のある子供はちゃんとマスクをしているのか、定期的に換気をしているのか気になります！	アルコール消毒は常時設置しています。風邪症状のあるお子さんとマスクしている方もおられますが、未だマスクが難しい方もおり、強制しておりません。定期的に換気は行っております。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			お迎えの時にその日の療育の様子を詳細に教えていただいて、子どもの今の発達や興味に合った個別療育を適切に取り入れてくださっていることがよく分かります。とてもありがたいです。子どもの特性やその日の状態をよく見て、無理のないペースで専門性のある支援を提供していただいています。	限られた時間ですが、お子さんの好きな物や得意な物を見つけられるように支援しています。ご家庭の姿とは違う事もありますが、お子さんの姿をご家族と共有する事を大切にしたいと思っています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			2		ももこの学園のHPに掲載しておりますのでご確認ください。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				2		利用開始時とモニタリングごとに保護者と懇談を行い、ご家族のニーズを伺い作成しています。また、お子さんの状況についてアセスメントを定期的に行い支援計画へ反映しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10		1	1	はい！いつも、色々な聞き取りや本人の苦手さを考えてくれます。家庭での関わり方についても助言をいただけるため、安心してお任せできています。	ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を個別の課題に合わせて設定しています。お子さんの成長に合わせて変化していきますので、成長に合わせてご家族の思いをお聞かせください。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1		1			支援計画を基に具体的な支援に落とし込めるよう、お子さんの様子に合わせて課題設定を都度見直し実施しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		2			お子さんの状況や活動グループに合わせて創意工夫し、内容や組み合わせを変え日々の活動に活かしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	1	3	ももっこまつりで他の利用幼児・児童と交流し、楽しく過ごしました。	ももっこまつりはご家族参加型で実施しておりますので、楽しんでいただけて良かったです。保護者のご希望により、所属園でのお子さんの様子を伺い、情報共有は積極的に行っています。	
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					契約時に運営規定、利用者負担等について説明しています。ご不明な事があれば、いつでもお声かけください。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					半年に一度は個別のモニタリングを基にした支援計画を作成し、支援内容の説明をしています。その際、ご家族やお子さんの意向も反映するようにしています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			2	就学前の座談会など、とても貴重なお話を聞いた情報交換できる機会があり、ありがたいです。いつも相談に乗っていただき大変助かっています。専門性のある助言をいただき、心の支えになっています。	定期的な保護者対象の茶話会は行っています。保護者同士が悩みを打ち明けたり、励ましあったりする場となっています。就学についての茶話会は、リアルな先輩ママからのお話で有益な情報を得られたようで良かったです。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18			1	いつもしっかりこちらにも聞いてくださるし、こちらからも伝えられる機会や雰囲気があると思います。	その場でお答えが難しい相談については職員間で協議したり、専門の人に確認する等してお答えするようになっています。また、保護者へ伝えたい内容については職員間で共有しています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1	1	親も子供に対してイライラしてしまうことや、どうすれば良いのか分からないことが多い中、沢山話を聞いてもらっています。的確なアドバイスを頂き、感謝しています。周りに同じような子供がおらず相談できないので、とても信頼しております。	お迎え時に毎回保護者とお話の時間を作っています。また、お迎え時のお話では時間も限られているため、よりお話を希望される方には個別面談の機会を設けて対応しています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1		1	親の気持ちにも寄り添ってくださるので、相談しやすいです。的確なアドバイスや共感をしていただけるので、とても頼りにさせていただいています。	お子さんのその時々様子の様子に寄り添いながら支援をしていきたいと思っています。また、保護者の戸惑いや悩みについて、一緒に考えていければと思っています。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2	3	参観や茶話会の開催によって、保護者同士が自然に交流できる機会があり、とてもありがたく思っています。	保護者の方向けに参観・茶話会を行っています。ももっこまつりや中国学園じゃんぶ！はきょうだい参加が可能ですので、ぜひご参加いただければと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	1		半年に一度は個別のモニタリングを基にした支援計画を作成し、支援内容の説明をしています。その際、ご家族やお子さんの意向も反映するようにしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	1	子どものその日の様子や小さな変化まで丁寧に共有していただき、こちらの質問にも分かりやすく答えていただけて安心しています。	お子さんには必要に応じて視覚支援ツールを使用しています。保護者の方とは、毎回お話をさせていただいています。直接のお話だけでなく、携帯アプリでのやりとりや電話でも情報のやりとりをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	2		法人として定期的にSNSを発信しています。自己評価結果については法人のホームページに載せていますので、ご確認ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17		2		法人として、個人情報保護の規定を設け、順守しています。保護者には、契約時に同意書をいただき、それに基づいて適切に運用しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	1	4	法人として各種マニュアルを策定しています。保護者の方がいつでも閲覧できるように事務所に設置しています。訓練は計画的に行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		4	年間計画に沿って、計画的に実施しています。報告書は玄関に掲示しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		3	安全計画については、玄関に掲示しております。計画に沿って対応や環境整備を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		3	事故等発生時には、軽微なものでも、迎え時にお伝えするようにしています。また、職員間でも再発がないように情報共有しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1			毎週楽しみにしています！ 楽しんで通っていたらいいよかったです。これからも安心出来てほっとできる場となるよう務めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	3			とてもとても楽しみにしています！！「ももっこに行くよ」と家を出る前に声をかけると嬉しそうな顔をして玄関に向かいます。 楽しみに通っていたらいいよかったです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	1		大大満足です。初めは週に1度だし、どうなのかな？と思ってました。通い出して4ヶ月経ちますが一番、お子さんが元気に楽しく過ごせることだと思っています。ももっこが安心して通える場所になる個人ワークなどは家でどれだけ教えてもできなかったことが、ももっこであっさり覚えてきました笑 先生たちには本当に感謝です！！これからもよろしくお願いします！！ わからないこと不安なこと全てにおいてサポートしてくれたり、一緒に考えてくれたり、頑張った時は一緒に喜んでもらってとても満足しています！子どもの様子を細かく見ていただき、家庭での関わり方についても丁寧にアドバイスをいただけて助かっています。 今まで一度も行きたいと言ったことがない程ももっこに行くのが大好きで毎週楽しみにして通わせてもらっています。 先生方もいつも親身で親の方で助けられることが多々あります。子供の事をとてもよく分かってくださっていてももっこはとてもありがたい子供の安心して通える居心地の良い場所です。 毎回満開の笑顔で帰ってきます。 いつも寄り添ってもらって、出来るようになった事は一緒に喜んでくれて困ったらいつでも相談出来るように配慮もあって、子供も大好きで喜んでいきます。 ぜひ放課後デイサービスを平日の午後も行っていて欲しいです。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス『ももっこ』		公表日		R8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	空間を区切るなどしながら安全に過ごせるように配慮しているが十分とは言えないため今後も検討や工夫が必要です。	多目的スペースがないため、雨天時など身体を動かすスペースが限られてしまう。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	基本的な配置人数は守られています。	利用児の特性や時間帯によっては職員数が十分ではない時間帯があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	利用されているお子さんがわかりやすいよう空間の構造化や視覚表示など行っています。	工夫はしていますが、十分だとは言いきれないため、子どものニーズに合った環境に健全していく必要があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃や週末の消毒などで定期的な掃除をしているが十分とは言えない所がある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		空間自体は全体を見えるように、区切りをなくしていますが、壁を上手く使い利用児が1人で集中したい時にも対応できる環境にしていると思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		日々の反省会や会議等で振り返りをしながら今後の支援等について検討し、改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年1回、保護者向けの評価表をまとめています。率直な意見を参考に支援や活動に取り入れています。貴重な意見を活かしているようこれからも全職員で検討し努めていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日朝昼の引継ぎの際に、業務上必要事項について確認し、改善に努めています。また、月1回会議でも意見を出し合い業務改善しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者の外部評価は実施できていません。	第三者評価について事業所として実施する必要があります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		各種研修には積極的に参加するようにしています。また、法人内で必要な研修を行い受講しています。研修参加後、他職員への伝達研修を行い、研修で得た知識を全職員で共有し支援の向上に努めています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムは職員の意見を取り入れて作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	2	利用開始時とモニタリングごとに保護者と面談を行い、ご家族のニーズを伺い作成しています。また、児童の状況についてアセスメントを定期的に行って支援計画へ反映しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	時間を設定して支援計画について、支援員みんなの意見が得られるように努めています。	保護者のニーズと子ども自身の姿をとらえて、より良い支援計画になるように努めていかなければいけません。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	3	業務日誌に支援計画を書き込み、確認できるようにしています。	その時の利用児の状況に合わせて支援をしてしまうことがあります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	「NCプログラム」や「開わりレベルシート」、「スクリーニング評価」といったアセスメントツールを使用しています。適応行動尺度(Vineland II)も使用できます。必要な時に使っていきたいと思えます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を設定しています。支援ツールを活用した設定を出来るように工夫しています。また、「発達支援」として、保育所等との連携も積極的に計画に入れるようにしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		担当者が立案し、会議の場や日々の打ち合わせで共有し、全職員で確認・修正して活動に活かしています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子どもの状況や活動グループに合わせて創意工夫し、内容や組み合わせを変え日々の活動に活かしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの状態や発達状況に応じて、個別活動と集団活動の他、人との関わりレベルを把握して支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前に毎日職員間で打ち合わせをし、支援内容や活動の調整などを行っています。また、その日の子どもの様子に合わせて職員間で相談し、随時活動内容の変更等も行っていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		午前・午後の活動毎に反省会を行い、気付きを共有できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		4		記録時間をなかなか取ることができない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	2		半年ごとにモニタリングを行い、職員間で検討して支援計画を作成しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者中心に対応しています。その際、必要な情報が盛り込まれた資料作成は、職員間で相談して行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		担当する相談支援専門員、社会福祉協議会担当者や地区保健師等と連携を取り支援にあたっています。その情報を取り入れ支援計画を作成にも活かしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		必要に応じて保育所等の訪問を行い、支援内容の情報共有を行っています。また、保育所等の先生に見学に来てもらっています。その中で、子どもに気になることがあれば、保護者の了解のもと連絡を取り合うようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		必要に応じて、移行支援会議へ参加することに加えて、情報提供書を作成し、情報の共有を図るようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				法人の契約する大学教授、作業療法士（OT）を招いて専門的な助言をもらい、支援に活かしています。児童発達支援センターを見学し、具体的な方法を学び取り入れています。他にも、職員個々が研修したことを会議で報告してもらい、知識を拡げています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				自立支援協議会こども部会が開く2か月に一度の会には、児童発達支援管理責任者が参加しています。毎回興味深い内容で、職員全体に伝え共有しています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			法人の契約する大学教授、作業療法士（OT）を招いて専門的な助言をもらい、支援に活かしています。児童発達支援センター（空同学園・倉敷学園）を見学し、具体的な方法を学び取り入れています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		広域の各地域から来所いただいている関係もあり、一部の園他との交流の機会は持っています。保護者のご希望により、所属園でのお子さんの様子を伺い、担任・園長との情報共有は積極的に行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			送迎時のお話や電話でのやりとり、連絡帳、SNSアプリなどを使って、きめ細かくこどもの状況が把握できるように努めています。また、ごちらの様子も時間取って伝えるようにしています。保護者の方の子育てで不安については、その場でお答えできるようにしています。また、回答が難しい場合には、一度時間をいただいて、専パトレは実施できていませんが、参観茶話会や研修の案内等を行っており、保護者同士の繋がりが出来たり、子育ての悩みを共有したりする場となっています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			契約時に運営規定、利用者負担等について説明しています。また、運営規定についてはいつでも閲覧できるように事務所に設置しています。利用児負担については、毎月請求書等をお渡すときに説明しています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			支援計画作成にあたり、保護者の意見を盛り込み反映できるようにしています。	お子さんの意見や気持ちを汲み取り、支援計画に記載できるようにしていきたいと思っています。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		半年に一度は個別のモニタリングを基にした支援計画を作成し、支援内容の説明をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて、面談とは別で時間を設定しお話しできる機会を作れるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会はないが、中国学園大学のボランティア活動の「じゃんぶ」を定期的に開催しており、ご家族・きょうだい児の参加も促しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		困りごとを感じている保護者にはこちらから声を掛けさせてもらっています。また、必要ならできるだけ早急に個別面談の機会を設けて対応しています。その場でお答えが難しい相談については職員間で協議しお伝えするようにしています。また、家族へ伝えた内容について職員間で共有しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		法人として定期的に会報を、利用されている保護者へ配布しています。また、事業所のある地域の一般家庭へは新聞折り込みで配布しています。他に、ホームページやSNSも使い、広く広報しています。療育内容や連絡事項については、保護者に連絡帳アプリで様子をお伝えするなどしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		法人として、個人情報保護の規定を設け、順守しています。保護者には、同意書をいただき、それに基づいて適切に運用しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		必要に応じて視覚支援ツールを使用しています。児童との関わり方や保護者への伝達したこと等、職員間で共有しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	事業所が行っているもちこまつりには、ご家族連れでたくさんの方にご参加いただきました。近隣の方には案内を配りましたが参加者はおらず今後の課題です。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	児童発達支援ガイドラインに沿って、各種マニュアルを策定しています。保護者の方がいつでも閲覧できるように設置しています。訓練は計画的に行っています。保護者・職員への周知については、更に機会を設けて行っていきます。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		法人として業務継続計画（BCP）を策定し、会議で確認する機会を持っています。また、計画に基づき定期的な訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		契約時に服薬やてんかん発作等の聞き取りを実施しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	おやつのみ提供のため、アレルギーのあるおこさんには持参してもらっています 診断書をいただいでおくと思えます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全計画を作成し、定期的な訓練と設備等のチェックを行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	契約時に安全確保についての様々な機関との連携や取り組みについて説明しています。また、必要事項について随時お知らせしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	日々の反省会や会議等で情報を共有し、対策を検討していますが十分とは言えません。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		法人全体で年3回、虐待防止研修を行っています。研修で得た事を職員間で深め共有できるよう、事業所会議の場でも確認しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	契約時に説明しています		